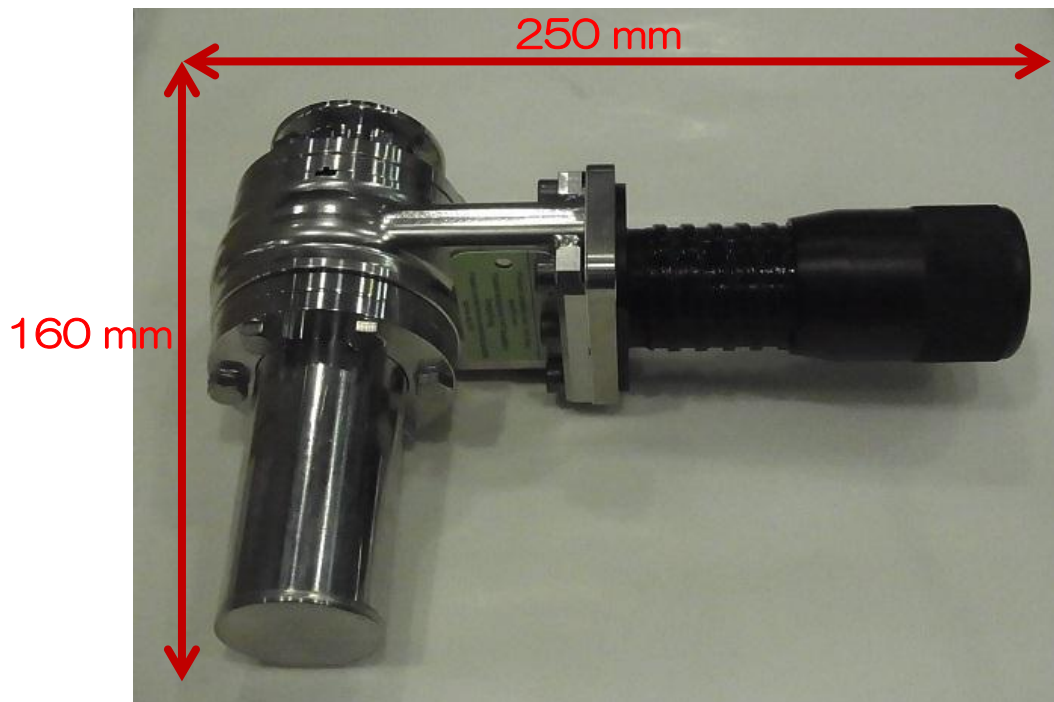


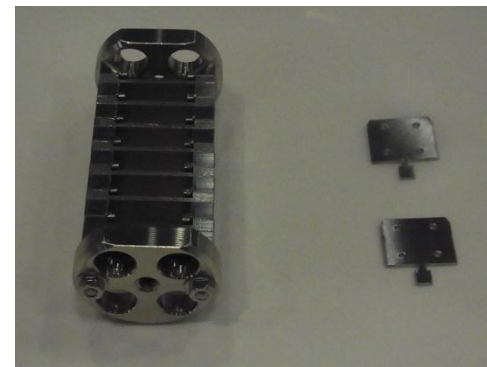
# AichiSR BL6N1 トランスファベツセルの使用方方法

ビームライン課 野本

# 1. 構成



トランスファベッセル本体



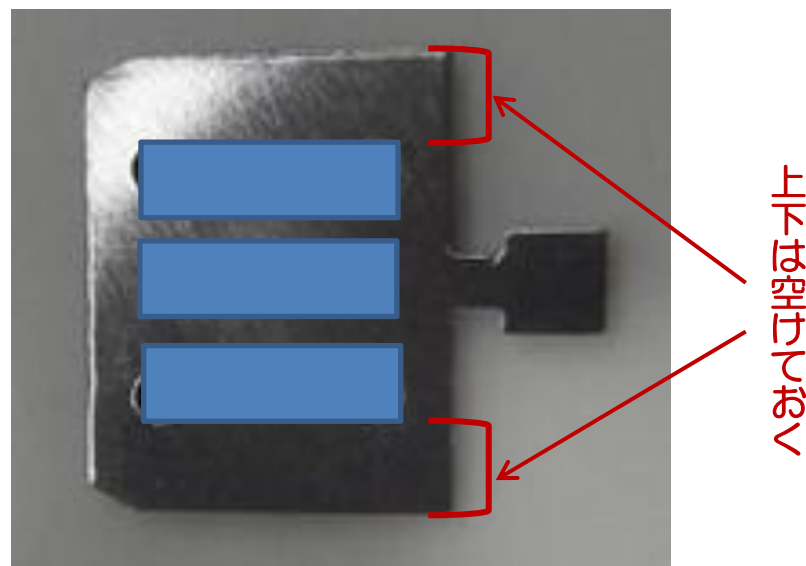
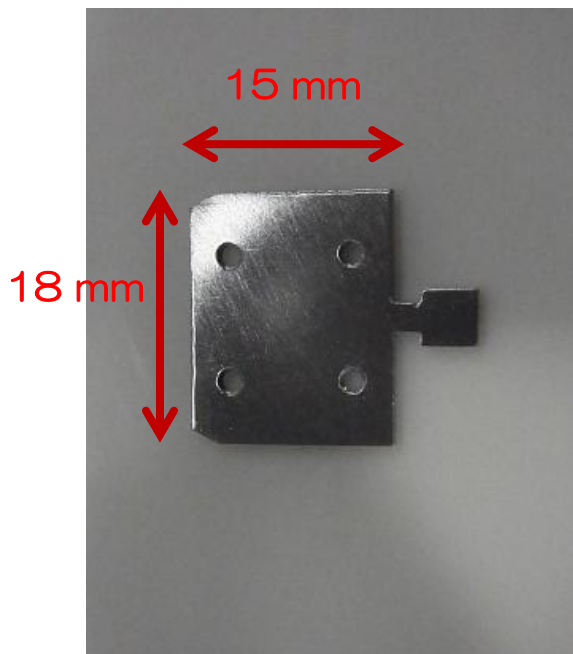
(左) サンプルラック  
(右) サンプルホルダ

## 2. 試料準備

導電性テープ等で試料ホルダにサンプルを固定する。

(注意点)

- 上下2mm程度は開けておくこと (試料輸送時にツメが入る場所となる)
- 一枚に複数試料を張ることが可能。光が横長であるため、試料は短冊状 (横長) を上下に並べると測定し易い。  
(光は縦1mm×横2mm程度)
- 絶縁体に近いものは、表面から試料ホルダへ導通を取ること。

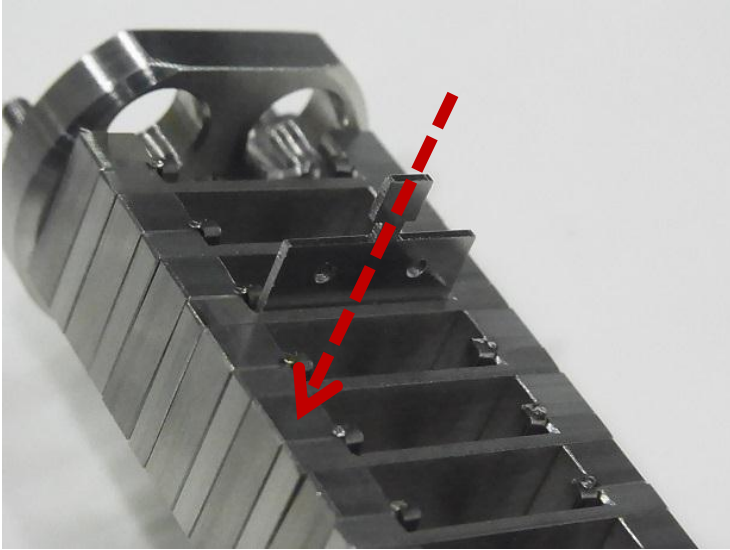


トドをはけていよう

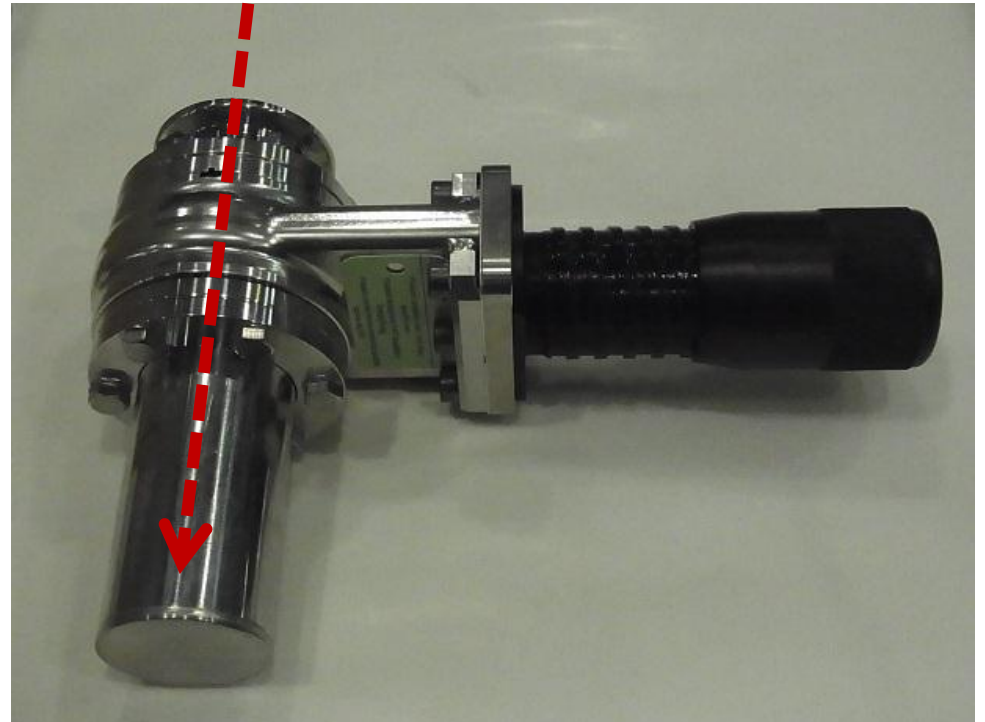
サンプル固定の例

### 3. ベッセルへの封入

試料ホルダをサンプルラックに挿入



サンプルラックをベッセルに挿入し、  
バルブを閉じる。



# ※封入時の注意点

ベッセル底部にサンプルラック下部と形状が合うように溝が切っております。

挿入後、サンプルラックを回転させ溝に下部が固定され、回転しなくなるようにして下さい。  
(移動時に外れないように、極力傾けないようにして下さい。)

挿入前



下部に溝あり

挿入後



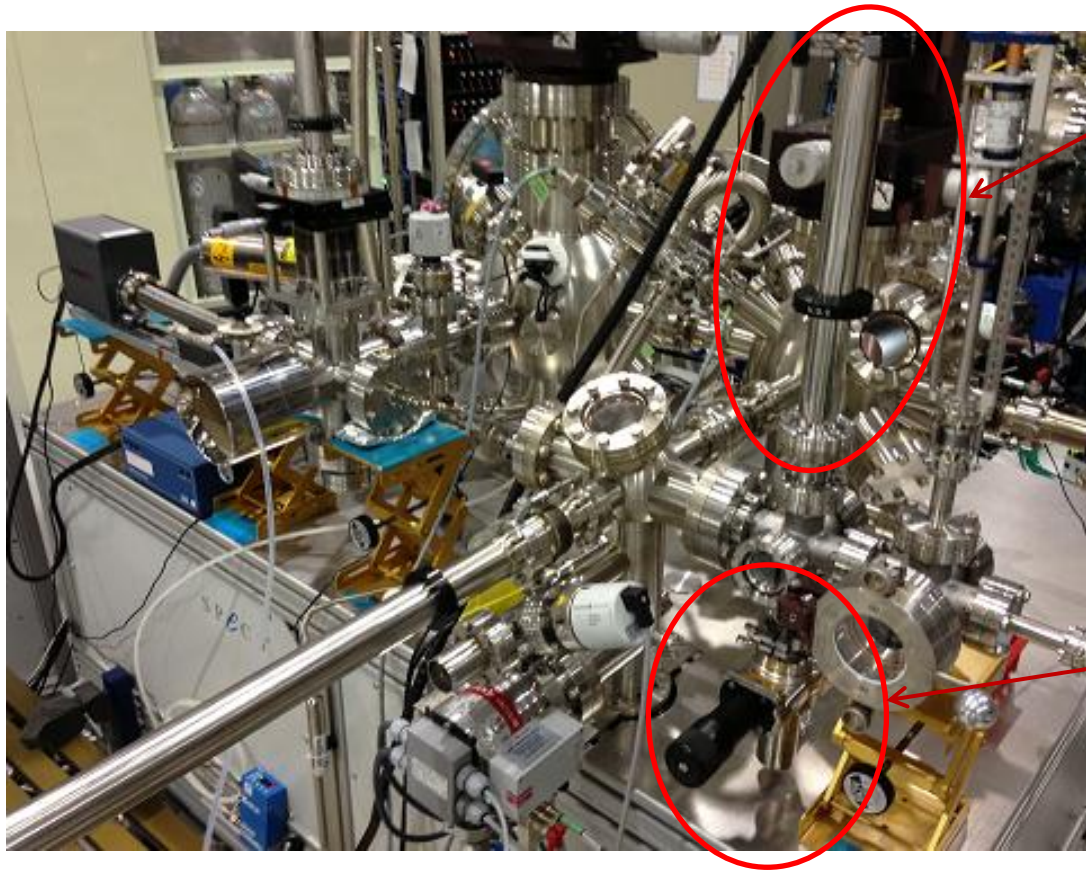
回転させ、溝にはまり、  
固定された状態



## 4. チャンバへの取付

ロードロックチャンバの取付ポート（NW40）に接続し、真空引を行った後、上側のトランスファロッドでサンプルラックを引き抜く。

その後、試料ホルダを分析チャンバまでトランスファーする。



サンプルラック引き抜き用トランスファロッド

トランスファバessel